

三大明神 遠野風力 どちらの計画にも住民の意見は反対!

土砂災害が心配! 生活水の汚濁が心配!

遠野全域で反対署名が世帯数で86%、住民数でも6割になりました



遠野町に計画されている2つの発電所に反対する署名の集計表(2018年12月21日現在)

行政区分	地域名	世帯数	署名世帯数	署名世帯率	署名数	備考
入遠野1	入定	62	141	97%	372	
	入上	53				
	中野・天王	30				
	小計	145				
入遠野2	関屋・落合	31	108	76%	280	
	西根	26				
	前田	47				
	東山	39				
	小計	143				
上根本		78	63	81%	144	
下根本		100	92	92%	234	
深山田		216	184	85%	449	
小計		682	588	86%	1479	
根岸		171	158	92%	348	
上遠野		301	274	91%	663	
大平		91	64	70%	150	
上滝		178	158	89%	315	県に提出予定
下滝		150	115	77%	233	県に提出予定
小計		891	769	86%	1709	
合計		1573	1357	86%	3188	
遠野町以外の地域の署名					402	県に提出予定

遠野町を環境を考へる友の会が進めてきた「遠野町に計画されている2つの発電計画に反対する署名」が、昨年12月で遠野町から1357世帯で3188名の方から署名をいただきました。また、遠野町以外でもこの発電計画聞き、心配して署名を寄せて下さった方が402筆となりました。ご協力ありがとうございました。(滝地区と遠野町以外の地域の署名は近々県に届ける予定です。)

住民の多くが発電計画の反対署名に賛同したことに疑問をもたれて、県に問い合わせをされた方がいた様ですが、間違いなく遠野町の民意は「この発電事業計画に反対」と言えるでしょう。いま大事なことは、住民が最も心配している土砂災害や生活水の汚濁についてしっかり検証し、少しでも心配があれば計画中止を求める勇気を持つことではないでしょうか。

事業者は住民の懸念に何も答えていない

住民の合意なしに事業は進められない

遠野地区に計画が予定されている2つの風力発電事業のうち、三大明神風力の方は、「実績がある業者だから大丈夫」「もう決まったようなもの」というとらえ方をしています。

しかし、三大明神風力の環境評価準備書に対し、経産大臣からこの準備書の内容では環境に重大な懸念があると、計画の中止を含めた大幅な変更を求められました。そして改正事業計画ガイドラインは「住民との合意形成」を強く求めています。会の署名結果は「この事業への反対」が住民の多数意見であることを示しています。

住民懸念「土砂災害、生活水の汚濁」に答えよ!

三大明神風力は遠野風力に比べて問題点が少ないと思われる方も多いかも知れません。でも、本当にユーラスエナジーの事業はアカシアリニューアブルズ(株)と比べて問題が少ないのでしょうか?

遠野町における事業計画で特に問題になっていることに、土砂災害の危険性と生活用水に対する影響があります。この地域は土砂災害危険箇所としていわき市主催で避難訓練が実施されている地域です。

ところが、**どちらの事業者も、その2つの問題に関して環境影響評価項目としては取り上げていません。**アカシアに関しては、住民に強く指摘されて、環境影響評価とは別に独自調査を行うと言明していますが、ユーラス側からはそれすらも行うというように聞いていません。どちらの業者も、住民に一番影響の大きい環境変化について法的に義務付けられる評価項目に入れないというのは論外ではないでしょうか。

事業者や風電推進者は「固定資産税で市の税収が増える」というのを、導入のメリットとして、よく取り上げます。そこですでに稼働している川前地区の小白井(2100kw・13基)での固定資産税を問い合わせたところ約3000万円。ただし、その75%分が交付税から差し引かれるので、実質年間約750万の増収にしかありません。

三大明神風力発電事業



遠野風力発電事業 環境影響評価方法書 に対して知事意見

本当に土地の改変は少ないのか？

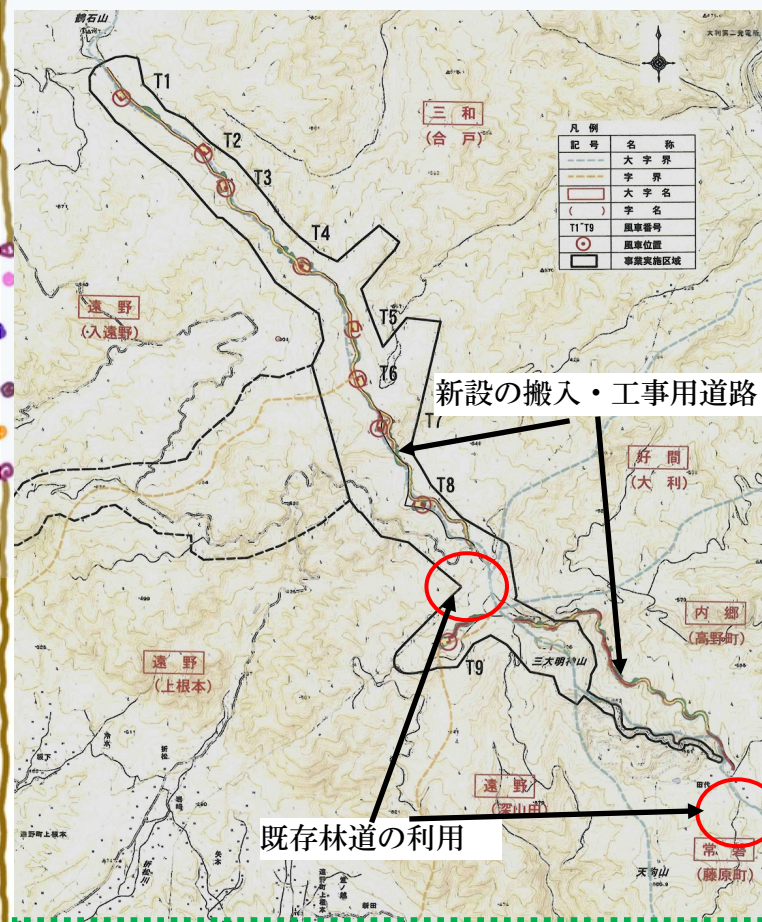
事業計画地の道路はほとんど新設 既存林道の利用はごく一部

重大な環境影響を回避できない場合 事業計画の中止を含めた抜本的見直しを！

土地の改変は「最小限に留められる」のは既存林道区間のみで、工事全体と

既存道を使うのは、湯の岳方面から田代の間と三大明神山付近の林道で、遠野地区の上を通る搬入路はほとんどが新設道路です。(下図参照)

区長会通信では！
区長会通信第二号の中で、「搬入路は既存の幅3mの林道を1m程度拡幅する工事であることから、土地の改変は最小限に留められるとの説明を受けました」とありました。
事業者の説明は！
これまで事業者のユーラスエナジーは、「事業計画地では、ほとんどの区域で搬入路は新設」と説明してきました。改めてこの問題で問い合わせしてみると、事業者側の回答は「搬入路は1mの幅員が必要であるが、既存道がある箇所については約3mあるので1m程拡幅すれば搬入は可能」と説明したとのことでした。



遠野町の環境を考える友の会
連絡先: 東山広幸(入遠野)090-8258-1181
Facebookアドレス: www.facebook.com/tohnomachikankyo/
当会の活動は、賛同いただける方の寄付で成り立っています。



集落で協力して沢水利用例

さらに、水の問題についても「対象事業実施区域及びその周辺では、地域住民が生活用水として地下水、湧水、表流水等を利用していることから、建設工事に伴う森林伐開等により生活用水への影響が懸念されている。このた

め、環境影響評価とは別に、事前に地域住民等広範囲のへ丁寧な説明を行い、十分な理解を得たうえで生活用水に関する調査を実施すること」と記され、当会がこれまで指摘してきた点がほぼ網羅された形となっている。

生活用水への影響が懸念、丁寧な説明 住民の理解を得たうえで生活用水の調査を！



尾根付近に見られる巨石群

知事意見では「対象事業実施区域の大部分が、大雨や地震などで土砂災害による被害のおそれがある場所(土砂災害危険箇所)であり、また対象事業実施区域の周辺には湯ノ岳断層が存在している」、「対象事業実施区域は複数の土砂災害警戒区域等に近接しているほか、比較的雨量の多い地域であり、平成20年8月末豪雨の際、対象

事業実施区域内の遠野町入遠野字久保目地内において大規模な土砂災害が発生している」、「想定降水量については過去の雨量データの最大値を用いることや、想定を超える降雨が発生することも考慮した施工計画」を求めるなど、計画地が土砂災害の危険が現実存在することを指摘しています。

計画地は土砂災害危険区域！



森林の中に石塊が多数見られる

計画は未成熟 事業計画の中止を含めた抜本的見直しを！
さる11月19日、7月3日に住民説明会が行われた(仮称)遠野風力発電事業(アカシア・リニューアブルズ(株))の「環境影響評価方法書に対する知事意見」が出されました。
方法者に対して「多くの事項が未定及び検討中」、「内容に不備や修正を要する点が確認された」点を指摘しな

ら、「風力発電施設及び関連施設の建設及び稼働に伴う環境への影響を的確に把握し、周辺への重大な環境影響を極力回避又は低減する事業計画とすること」、「周辺への重大な環境影響を回避できない場合は、事業計画の中止を含めた抜本的な見直しを検討すること」と指摘しました。